

ほのぼの

初夏号
2023.6

発行：越前町国民健康保険 織田病院 福井県丹生郡越前町織田 106-44-1
TEL (0778) 36-1000 病院ホームページ <http://ota.jadecom.or.jp>

当院は良質の医療を提供していくために
病院機能評価認定を取得しております。

もくじ

- 管理者のあいさつ
- 病院長のあいさつ
- 新スタッフ紹介
- 体操コーナー
- Good Recipe

付属：おた訪問看護ステーション

おた居宅介護支援センター広報誌「おた福」

基本理念：私達は公平公正な地域包括医療を実践し、全ての地域住民の心身共に健康な生活と地域の発展を支援します。

基本方針：1. 私達は患者様の立場に立った安全で質の高い心のこもった医療を実践します。

2. 私達は常に研鑽に励み、医療水準の向上に努めます。

3. 私達は明るく働きやすい職場をつくり、全員によるチーム医療を推進します。

4. 私達は地域の保健・医療・福祉機関と連携し、住民の健康増進を目指します。

5. 私達は自治体病院として、透明性の高い合理的な病院運営に努めます。

2023 年度年度初めにあたってのご挨拶

管理者 津向 伸哉



町民・町職員・患者の皆様においては、平素より当院の運営に多大なご支援ご協力をいただき誠に有り難うございます。

さていよいよ WHO によるコロナの緊急事態宣言も終息し、感染症も 5 類に引き下げられ、世間はポストコロナ色です。

その陰で、厚生労働省はコロナ流行時の入院が困難だったのは、病院の医師スタッフが少ないからで、病院を統合閉鎖して、一病院あたりの医師スタッフを増やす必要があるという説を提唱してきています。

本当にそうでしょうか？誰もが危険な感染症をみたくないのは同じです。その中で公立病院は、当院のような小さな病院でも入院患者を引き受け、出来るだけのことをしてきました。問題はキャパシティを超えた患者数にあるのであって、中小病院の整理統合にあるのではないのでしょうか？

医療が衰退した地域は、過疎化がいっきに進行します。国や厚生労働省は都市部だけが残ればいいのでしょうか？

ポストコロナにおける病院の生き残りをかけた正念場が始まりました。

医療の質において、患者さんに選択され、良好な経営を維持しなければ、当院の未来はありません。

そんな中当院では、コロナ禍にも鏡視下手術などの治療レベルの向上に尽力し、変形性関節症の手術件数は県内 3 番目の実績です。

またサービス付き高齢者向け住宅の開設による、医療と介護の狭間の解消も、着々と計画が進行しております。

苦節し溜めた当院の力を発揮するのはこれからです。いましばらく皆様のご助力を御願い申し上げます。

病院長 根本 朋幸



新年度にあたり一言ご挨拶させていただきます。

本年5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法の2類から5類へ移行し、ウイズ・コロナ時代が形式的にも幕開けしました。医療の現場では院内感染をいかに防ぐべきかが問題です。ウイルスそのものに変化はありませんので、難しい舵取りが要求されます。個人的には国民の理解、ワクチン接種による重症化予防、抗ウイルス薬の予防投与、将来には病室の個室化が必要なのではないかと思っています。

病院長に就任してから3年が経過し、この間はコロナ禍とともにありました。コロナ重点医療機関の指定、院内クラスター、発熱者外来とこれまでに経験がない苦労がありましたが、振り返るとあつという間でした。今後は地域医療構想の中でどのように生き残っていくか正念場です。以前の医療環境が少しずつ元に戻りつつある現在、病院機能評価の更新受審が待ち構えていました。コロナ禍で1年延期となっていました。継続認定に向け準備のさなかです。

病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、第三者の目を通して病院組織全体の運用管理および提供される医療を中立的、科学的、専門的な見地から評価するものです。病院機能評価する第三者機関には、日本医療機能評価機構、JCI(Joint Commission International)、ISO(International Organization for Standardization)などがあります。診療報酬における施設基準の中には病院機能評価が要求されている項目があり、経営的メリットもあります。当院が取得している評価は日本医療機能評価機構によるもので、2007年12月に取得して以来3回更新しています。この機構による認定は2023年4月現在、全病院数8182病院中の認定病院数は2008病院で、24.5%となっています。福井県では67病院中14病院20.9%の認定率です。もちろん、この機構以外にもISOで認定されている医療機関もあります。福井県で認定されている病院の中で一番病床数が少ないのが当院となっています。

赴任してから初めての更新審査であり病院機能を改めて考える上で良い機会となっています。今回の更新審査過程で気がついたことがいくつかあります。1つは第三者の視点はやはり大切であるということです。医療機関は診療の向上のため切磋琢磨することが必要と思いますが、保険診療という公的枠組みの中では過度の競争は適切ではありません。逆に、競争がないと現状にあぐらをかいて進歩が望めません。地域医療では医療過疎が背景にあることが多いため、競争原理が働きにくい構造となっています。都市部周辺地域にある当院において、井の中の蛙とならず、より良い医療を提供するためには、第三者の介入に意義があるものと思います。ただ、この蛙には続きが作られているようで、されど空の青さを知るとあります。より深く病院機能が高まっているところにも気がつくことができました。

もう一つは病院機能にも時代の変遷があることです。これまで当たり前だったことが古くなり、これまでなかったものが生まれてきます。現在何が要求されているかを見極めないといけません。自分たちでは気づけない点について病院機能評価を更新することで認識し、病院をアップグレードしていくことに繋がるのではないかと思います。

今年度は若手医師2名と、新卒を含む看護師2名、言語聴覚士1名と栄養士1名を迎えることができました。最新の医学、医療を学んだ新人のみなさんが今の時代の視点で診療に加わってくれることで病院機能を高めてくれるのではないかと期待しています。

より良い医療を提供するため地域住民にとって安心して任せられる病院を目指して職員一丸となって努力して参ります。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 林 智寿子



2023年5月コロナから少し開放される時がやってくると願い、これを書いています。

コロナで失った物は大きく今も尚、影響し続けています。しかし一方で、社会が合理的に変化したことも事実です。医療も変化し近年「病院完結型」から「地域完結型」へ変わりつつある中で、当院は「公平公正な地域包括医療を実践し、地域住民の心身共に健康な生活と、地域の発展を支援します。」の基本理念のもと、外来・入院・在宅・介護施設等まで切れ目のない看護ケアの継続が求められ、必要な看護ケアを提供するために、多職種と連携し取り組んでいます。そして、当院には感染管理認定看護師と認知症看護認定看護師が在籍し地域住民に専門的な立場から看護を提供しています。また、再入院を防ぎ、住み慣れた場所で生活し続けられるよう、まず看護師が患者の変化に「気づく」ことが出来るようになること。

そして、何より「優しく」接することができれば、と考えます

今後も、いつでもどこでも誰にでも安心して看護が提供できるよう看護体制を整えていきたいと思っています。

「あ～、また貧血出つんたわ。」

内科 服部 雄



表題のような会話をよく耳にします。皆さんは貧血と聞いて何を思い浮かべますか？この時期であれば入学式で突然倒れこんでしまう方を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

貧血は実は、採血をしないと分かりません。酸素を全身に運んでくれる赤血球が低いことを指します。貧血があると立ちくらみや息切れが症状として表れるので、それらを「貧血」と呼んでいる方がありますが、これらの症状が必ずしも貧血に起因するとは限りません。

一方で、貧血の原因とは非常に様々で、若い女性であれば生理も有り得るし、はたまた、身体に隠れている胃がんや大腸がんからの出血していた、ということも有り得ます。血をうまく作ることができなくなる骨髄形成症候群でも貧血は起きますし、異形成症候群は高齢の方に多く、90歳を超えるとその頻度は2割ともいわれています。

病的な貧血もあれば、放っておいてもよい貧血も多く存在するわけです。

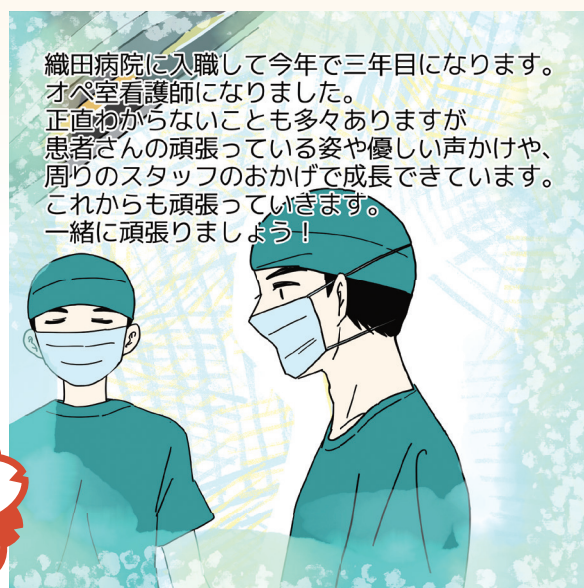
織田病院では、内視鏡検査の他、CTやMRI検査も可能で、近々、骨髄検査という検査もできるように準備を進めているところです。

それはつまり、貧血の原因を突き止めることに関しては、当院でほぼすべて完結できることを指します。

まとめると、

- ・貧血は採血をしないとわからない。
- ・貧血があると息切れ、疲れやすさ、立ちくらみが起きる。
- ・貧血の原因は多岐にわたる。
- ・貧血の原因のほぼ全てを当院で精査可能です。

気になることがあれば当院まで相談ください。



新スタッフ紹介



看護部 看護師 水島 渚

知識を深め、技術を磨くために一生懸命頑張ります。患者さんに寄り添える看護を行っていただけるよう、努力しますので、よろしくお願いします。絵を描くのが得意です。何かあれば協力させてください。



看護部 看護師 上田 裕理

本年度から、病棟で働かせていただいております上田です。まだ慣れない業務が多く、戸惑うことがありますが、精一杯頑張ります。患者様やその家族にとって最善なことは何なのか考え、安全で個別性のある看護を提供することができるよう、努めていきます。よろしくお願いします。



医療技術部 リハビリテーション室 言語聴覚士 獅子原 由真

織田病院の職員の一員として働かせていただくことができ嬉しく思っています。しかし、まだ新人ということで分からないことや、先輩方みたいに上手くできないことも沢山あります。毎日笑顔を忘れず患者様に寄り添いながら先輩方を見習い言語聴覚士として少しずつ成長できるように頑張っていきたいです。



医療技術部 栄養室 栄養士 臼井 晴菜

この度、織田病院に勤務することになりました。臼井晴菜と申します。これまでの経験を活かして、一日でも早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



体操コーナー

健康維持のためには、運動と栄養が重要です。今回は栄養との関連を少し絡めて運動の紹介をしたいと思います。栄養の取り方が極端に偏り過栄養いわゆる肥満は、糖尿病、高脂血症、痛風、心臓病、脳卒中の危険性が高まります。また、膝痛、腰痛なども生じやすく、活動量が低下することで、肥満が進行する可能性があります。

逆にやせが進む低栄養は、筋肉量低下や骨粗鬆症などが進行し、転倒や骨折の危険性が高まります。また、免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなったりします。さらに低栄養状態での過度な運動により、かえって筋肉量が減少する場合があります。

栄養状態に応じた適切な運動の目安として栄養状態が良好か痩せていても食事摂取量は十分な場合は筋力量を増やす運動を行いましょう。

筋肉量を増やしましょう（筋力増強運動）



①浅いスクワット運動

お尻をゆっくりとおろしたり、上げたりを 10 ～ 30 回行いましょう
膝がつま先よりも前に出ないようにしましょう



②かかとを上げる運動

膝を伸ばしかかかとをゆっくり 10 ～ 30 回上げ下げしましょう



③足を後ろに引く運動

体が前かがみにならないように足全体を後ろ方向に 10 ～ 30 回動かしましょう



④足を横にあげる運動

つま先が外側に向かないように足全体を横方向 10 ～ 30 回動かしましょう

これらの運動に加えて過栄養、肥満が進む場合はウォーキングや自転車こぎや水中ウォーキングが代表的な体脂肪を減らす有酸素運動を取り入れましょう。いずれも息がはずむ程度の負荷で痛みのない運動を選び、実施しましょう。時間・頻度は 20 ～ 30 分以上を週に 3 回。もともと運動習慣がない方は、5 ～ 10 分程度から開始し、徐々に増やしましょう。

逆に低栄養や食欲低下の場合は椅子に座って出来る手足の運動からと負荷を下げ筋力を維持する必要があります。今回の運動にとらえ方を参考に、「おいしく、楽しく食べること」を意識しながらバランスの良い食生活と運動習慣を心がけましょう。

織田病院の機器について

令和4年12月に乳房X線撮影装置（マンモグラフィ）を更新しました。従来は撮影した写真を確認するまでに撮影後5～10分程度必要でしたが、フルデジタル式となったことで撮影してすぐに画像を確認できるようになりました。また、放射線被ばくも関連学会等が示す基準値を下回る量となり、画質も飛躍的に向上しています。

検査は日本乳がん検診精度管理中央機構の検診マンモグラフィ撮影技師認定を取得している女性スタッフが担当し、日常診療、国保ドックなどで乳がんの早期発見、診断を行っています。

乳房X線撮影装置 (マンモグラフィ)



医療技術部 放射線室 松澤 和成

Good Recipe

春の二色おにぎり



エビの赤い色素はアスタキサンチンといい、抗酸化力が高く免疫力を高めます！他の栄養素も豊富なため、干し桜エビは手軽に摂取することができるためオススメです。



<材料> 2人分

1. 鮭と大葉おにぎり

塩焼き鮭	1切れ (60g)
しょうが	1かけ
大葉	4枚
白いりごま	大さじ1
塩	少々
ご飯	300g

2. 桜エビと枝豆おにぎり

干し桜えび	5g
しょうが	1かけ
むき枝豆	50g
ほんだし	小さじ1
塩	少々
ご飯	300g



<作り方>

- ①しょうがの皮を剥き、千切りにし水に付けておく。大葉は軸を切り落とし、千切りにする。
②ボウルにご飯、ほぐした鮭、しょうが、大葉、白いりごま、塩を入れて混ぜる。
- ①しょうがの皮を剥き、千切りし水に付けておく。
②ボウルにご飯、干し桜えび、しょうが、むき枝豆、ほんだし、塩を入れて混ぜる。
- ①と②を各3等分にしておにぎりの形に握る。皿に盛り付けて完成。



外来診察医師担当表

週間予定	月		火		水		木		金		土	
コース	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
①	服部 (内科)	村山 (内科)	島田 (内科)	島田 (泌尿外科)			服部 (内科)	服部 (内科)	服部 (内科)	野宮 (内科)	交代制	
	金田 (泌尿外科)		村山 (内科)	近藤 (内科)	若杉 (内科) ※予約制				藤田 (内科)		若杉 (内科)※第2 ※予約制	伊藤 (内科)最終土曜日 ※予約制
②	根本 (消化器内科)		近藤 (内科)		根本 (消化器内科)		近藤 (内科)		北崎 (神経内科)			
	近藤 (内科)		山本 優 (脳神経外科) ※第2-4		山中 (総合診療科)	山中 (総合診療科)	園田 (内科)		森田 (外科) ※第2-4-5	森田 (外科) ※第2-4-5	山田 (外科) ※第1-3	高嶋 (外科) ※月1回
内視鏡室									根本 (消化器内科)			
③ (整形外科)	津向	津向 (人工関節外科)	津向		津向		津向		津向		津向	
(小児科)	矢島	矢島 (15:00~)	矢島	矢島 (15:00~)	矢島		矢島	矢島 (15:00~)	矢島	藤本 (15:00~)	交代制	
		藤本 (予約制)		藤本 (予約制)						藤本 (予約制)		
(眼科)			青木				折井		大嶋			
(耳鼻咽喉科)	小山										菅野	
(放射線科)	木村		木村		木村		木村		木村		高田 竹内	交代制

当番医

受付時間：7：50～11：30 13：30～16：30
診察時間：8：45～12：00 14：00～17：00

※午後は診察がない曜日もありますので、事前にお確かめください。
※学会参加等のため休診になることがありますのでご了承ください。
※休診や診療変更などは当院のホームページで随時お知らせしています。
※電話でのお問い合わせは☎0778(36)1000 までお願いします。

編集後記

新年度になり広報委員会もメンバー交代がありました。私自身、広報は初めての委員会です。同じ部署の後輩が事務局をしているので、広報委員会では上司になります。その彼に優しくも時には厳しいご指導いただきながら広報誌を作成しました（笑）。不慣れなところもありますが、今後も織田病院広報誌を多くの方が見ていただけると幸いです。

当院までの交通アクセス

★お車で所要時間★



- ・福井市から 約40分 ・旧清水町から 約20分
- ・旧越廼村から 約40分 ・越前市から 約30分
- ・鯖江市から 約30分 ・旧朝日町から 約15分
- ・旧宮崎村から 約10分 ・旧越前町から 約15分
- ・旧河野村から 約20分

★公共交通機関での順路と所要時間★



※織田バスターミナルより、越前町コミュニティーバスが運行しておりますのでご利用ください。

旧清水町から

- ・県道3号福井大森河野線沿線から→京福バス79系統清水グリーンライン線（織田行）乗車、織田バスターミナル下車、徒歩20分

越前市方面から

- ・越前武生駅、JR武生駅、八田、樫津、江波から→福鉄バス越前海岸線（かれい崎行）乗車、織田病院又は織田病院口下車すぐ

福井方面から

- ・田原町、福井駅、赤十字病院、ベル前から→福鉄バス福浦線（かれい崎行）乗車、織田町病院又は織田病院口下車すぐ
- ・福井駅、赤十字病院、清水プラント3から→京福バス79系統清水グリーンライン（織田行）乗車、織田バスターミナル下車、徒歩20分

鯖江方面から

- ・JR北鯖江駅、神明駅、アルプラザ鯖江、越前町役場（西田中）、江波から→福鉄バス鯖浦線①（織田行）乗車、織田バスターミナル下車、徒歩20分
- または②（かれい崎行）乗車、織田病院又は織田病院下車すぐ

越前町内から

- ・越前町コミュニティーバス「フレンドリー号」が各線織田病院前まで運行しておりますので、ご利用ください。（前日午後5時までのデマンド運行予約が便利です。詳しくは越前町企画財政課 0120-34-2228（フリーダイヤル）まで

